

記入例)

水路測量許可申請書

平成〇〇年〇〇月〇〇日

第〇〇管区海上保安本部長 殿

住 所：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

氏名又は名称：〇〇県港湾局長

〇〇 太郎

水路業務法第六条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

1 目的 〇〇港〇〇区〇〇埠頭〇号岸壁（－8.5 m）の完成に伴う竣工確認

2 区域 〇〇港〇〇区

3 水路測量標の設置の有無 なし

4 事項

灯台その他の物標の標高 可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ

干出する岩その他の物及び干出堆の高さ 水深 海岸線 低潮線

浮標の位置 底質 その他（ ）

5 測定又は調査の方法

測位はDGPSを使用し船位を測定する。水深はマルチビーム音響測深機（△△社製、〇〇型）を使用する。最低水面は〇〇による。その他詳細は実施計画書のとおり。

6 期間

平成〇〇年〇〇月〇〇日 ～ 平成〇〇年〇〇月〇〇日（うち〇〇日間の予定）

7 成果の提出

予定期日 平成〇〇年〇〇月〇〇日

形式 〇〇港深淺図（プラスチックシート、縮尺1/10,000）

8 水路測量を計画する機関

名 称 〇〇県港湾局

代表者の氏名 港湾局長 〇〇 太郎

所在地 〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番地

9 水路測量作業を行う機関

名 称 〇〇〇〇測量株式会社

代表者の氏名 〇〇 花子

所在地 〇〇市〇〇町〇〇番地

水路測量作業従事者

氏名	実務略歴	資格
〇〇 一郎	水路測量30年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 次郎	水路測量10年	水路測量技術検定沿岸一級
〇〇 三郎	水路測量5年	水路測量技術検定沿岸二級

10 備考（計画機関の担当者名等）

担当者：〇〇県港湾局〇〇部〇〇課 〇〇 花子

TEL：(〇〇〇) 〇〇〇-〇〇〇〇

水路測量許可申請書

年 月 日

殿

住 所 :

氏名又は名称 :

水路業務法第6条の規定により、下記のとおり水路測量の許可を申請します。

記

1 目的

2 区域

3 水路測量標の設置の有無

4 事項

灯台その他の物標の標高 可航水域の上空にある橋梁その他の障害物の高さ

干出する岩その他の物及び干出堆の高さ 水深 海岸線 低潮線

浮標の位置 底質 その他 ()

5 測定又は調査の方法

6 期間

7 成果の提出

予定期日

形式

8 水路測量を計画する機関

名 称

代表者の氏名

所在地

9 水路測量作業を行う機関

名 称

代表者の氏名

所在地

水路測量作業従事者

10 備考